

## 質問書に対する回答

(件名) 東京湾アクアライン連絡道 金田高架橋耐震補強工事

No.	質問箇所	質問事項	回答
1	特記仕様書 2.3-5 縁端拡幅工B	アンカー工A、Bの削孔は削岩機や電動ドリルで施工してもよろしいですか。施工機械の指定がありましたらご教示ください。	施工機械の指定はございません。
2	特記仕様書 2.3-5 縁端拡幅工B	岩根西高架橋P16橋脚の鉄筋アンカー（鉄筋系D32、削孔径φ42、削孔長490mm）はどの単価項目に計上するかご教示ください。	縁端拡幅工Bの鉄筋に計上するものとお考えください。
3	特記仕様書 2.3-7 耐震補強用鋼板	特許使用料は経費計算対象額に含まれると考えてよろしいですか。	特許使用料は経費計算対象額に含まれます。
4	特記仕様書 2.3-7 耐震補強用鋼板	耐震補強用鋼板の架設A箇所に電動工具によるコンクリート表面処理は不要と考えてよろしいですか。	ピアーリフレ工法 設計・施工マニュアルに基づきお考えください。

5	特記仕様書 2 3 - 9 耐震補強用鋼板の塗装	岩根西高架橋数量計算書2-2-23頁に①工場塗装(下塗りまで)134.95m <sup>2</sup> 、②溶接部(F11塗装 地上部)17.31m <sup>2</sup> 、③C5塗装地上物73.11m <sup>2</sup> 、④C5塗装地中部61.84m <sup>2</sup> 、⑤F11塗装地中部13.29m <sup>2</sup> の記載があります。単価表No46 「耐震補強用鋼板の塗装C-5 73m <sup>2</sup> 」には③C5塗装地上物73.11m <sup>2</sup> を計上し、単価表No47 「耐震補強用鋼板の塗装F-11 17m <sup>2</sup> 」には②溶接部(F11塗装 地上部)17.31m <sup>2</sup> を計上するのでしょうか。残りの①と④と⑤はどこに計上すればよろしいのでしょうか。ご教示ください。	耐震補強用鋼板の製作に含まれるとお考えください。
6	特記仕様書 2 3 - 1 3 橋脚切り欠き部充填工	アンカー工の削孔は削岩機や電動ドリルで施工してもよろしいですか。施工機械の指定がありましたらご教示ください。	施工機械の指定はございません。
7	特記仕様書 2 3 - 1 5 橋座補強工	アンカー工の削孔は削岩機や電動ドリルで施工してもよろしいですか。施工機械の指定がありましたらご教示ください。	施工機械の指定はございません。
8	特記仕様書 2 3 - 1 7 アンカー工	アンカー工の削孔は削岩機や電動ドリルで施工してもよろしいでしょうか。施工機械の指定がありましたらご教示願います。	施工機械の指定はございません。
9	特記仕様書 2 4 割掛対象の項目に示す工事の内容 - 仮設備工事費	足場工事(標準型)Aと足場工事(標準型)Bにシート張り防護の記載がありません。施工において、シートは不要との理解でよろしいでしょうか。	そのとおりお考えください。
10	特記仕様書 2 4 割掛対象の項目に示す工事の内容 - 仮設備工事費	既設構造物の状況・寸法調査、報告書・変更図面提出後に施工を行い、巻立コンクリートの強度発現後に非破壊検査(テストハンマーによる圧縮強度確認)を実施すると割掛対照表参考内訳書に記載の足場工必要期間を超えらると思われます。足場工事(標準型)Aは型枠脱型後にすぐに撤去する計画でしょうか。	貴社の作成した施工計画に基づきお考えください。

11	設計図P39	縁端拡幅工天端のシール材は諸経費に計上でしょうか。シール材をどの単価項目に計上するかご教示ください。	縁端拡幅工Bのコンクリートに計上するものとお考えください。
12	設計図P439	図面に記載の含侵接着樹脂量は（目付量400g/m <sup>2</sup> で0.6kg/m <sup>2</sup> 、目付量600g/m <sup>2</sup> で0.6kg/m <sup>2</sup> ）、各メーカーの使用量や、積算基準32-17頁の表14-20に記載の含侵接着樹脂と比較すると少ないように思われますが、記載の数量で積算されていると考えてよろしいですか。また、記載の含侵接着樹脂量で施工してよろしいでしょうか。ご教示ください。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
13	単価表 番号4 構造物掘削 特殊部B1 小櫃川第一橋 (P5)	単価表項目「特殊掘削B1」について 特記9-2「進入路が未了」とされています。この代価積上げ条件を確認いたします。（交付設計書から想定） ①締め切り用矢板等は、現状足場がないが施工箇所脇から通常打設可能とする。 ②掘削、積み込み方法も ショベル・ダンプにて通常施工可能とする。 ③ダンプ運搬経路：工事区域内を走行し 金田高架下 出入り口から指定工事用道路経由で小櫃川第二橋下へ運搬 以上の想定条件による 積上げでよろしいでしょうか。ご教示ください。	貴社の施工計画に基づき計画してください。なお、①に関しては上部障害クリア工法を想定しています。③に関しては、工事箇所から市道1304号線を経由して小櫃川第二橋下へ運搬することを想定しております。
14	単価表 番号9 鉄筋T	鉄筋T数量693.23tには組立アンカー鉄筋が含まれていません。積算において、組立アンカーの削孔費、鉄筋材料費、鉄筋定着費、アンカー削孔で発生するコンクリートがら処分費が計上されているかご教示ください。	鉄筋Tに含まれるものとお考えください。
15	単価表 番号12 縁端拡幅工B 鉄筋	北内房線橋P27橋脚(上下線)の鉄筋量について 設計図582頁には0.571t、設計図589頁、596頁には563kg、数量計算書1頁には0.571t、2-4頁、2-16頁には0.582tと異なる重量の記載があります。積算における鉄筋重量についてご教示願います。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。